

ニューノーマル時代のDXを進めるIoT用 創エネルギー材料・デバイス研究の新展開

2021年3月18日(木) 10時~18時(予定)

<https://meeting.jsap.or.jp/symposium> オンライン開催

熱、振動、電波などをエネルギー源とする環境発電技術が、様々な材料・デバイス開発によって進展しています。環境発電は、エネルギー自立型エッジデバイスを可能にするため、ニューノーマル時代のデジタルトランスフォーメーションへの貢献が期待されます。この展開を広い視野から俯瞰し、情報共有、議論を行う機会を設けました。多くの学术界、産業界の関連研究者・技術者の参加をお待ちしております。

招待講演者

永野 智己 (文科省)	DXによるデータサイエンス駆動型材料開発への期待
森 孝雄 (NIMS)	IoT環境発電用高性能熱電材料の開発および応用要件の検討
太田 裕道 (北大)	金属酸化物薄膜の熱電能・熱伝導
年吉 洋 (東大)	MEMS振動発電素子用シリコン酸化膜エレクトレット
Woochul Kim (Yonsei 大)	Health monitoring and thermoregulation based on wearable thermoelectric devices
高浦 則克 (日立製作所)	ニューノーマル時代におけるIoTプラットフォームとスマート社会
中嶋 宇史 (理科大)	振動エネルギーハーベスティングと機械学習の融合による 低消費診断系エッジデバイスの開発
菅原 徹 (阪大産研)	IoTセンサ機器のための熱電変換デバイスの開発 - デバイスを構成する材料と材料界面の信頼性 -
Adrien Badel (Savoie Mont Blanc大)	Non-linear power management circuits for vibrational energy harvester
村田 知紀 (KELK)	熱電エネルギーハーベスティングを用いた無線センサデバイス

一般講演も受け付けておりますので是非ご投稿下さい

企画 16.2 エネルギーハーベスティング研究グループ
6.3 酸化物エレクトロニクス, フォノンエンジニアリング研究会

世話人 鈴木 雄二 (東大)、秋永 広幸 (産総研)、野村 政宏 (東大)、
田中 有弥 (千葉大)、田中 秀和 (阪大産研)、組頭 広志 (東北大)、
松野 丈夫 (阪大)、上野 和紀 (東大)、中川原 修 (村田製作所)